

# 山根徳太郎と在外研究

難波宮の調査研究に功績をあげた山根徳太郎（大阪商科大学・大阪市立大学教授）による、1941～42年の北京留学中の史料を手がかりに、その在外研究と山根を取り巻く当時の日中状況などについて考えます。

日時：2025年1月12日（日）13時～17時

場所：大阪公立大学杉本キャンパス 文学部棟122会議室

## ◇報告者

栄原 永遠男（大阪公立大学名誉教授・客員教授）

渡辺 健哉（大阪公立大学文学研究科教授）

田中 ひとみ（大阪公立大学大学史資料室研究員）

渡部 陽子（大阪公立大学大学史資料室・UCRC研究員）

濱道 孝尚（大阪公立大学UCRC研究員）

## ◇コメンテーター

稲森 雅子（九州大学大学院人文科学研究院専門研究員）

関 智英（津田塾大学国際関係学研究科准教授）

連絡先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪公立大学大学院文学研究科 渡辺健哉研究室

[kenya-w\[at\]omu.ac.jp](mailto:kenya-w[at]omu.ac.jp)（[at]は@に変換してください）

参加を希望される方は、1/6（月）までにご連絡ください。

主催：山根書簡研究会・大阪公立大学大学史資料室

共催：大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター（UCRC）

本シンポジウムは、科研費基盤研究C「日中戦争下北京における日本人研究者の学知形成—新出の山根徳太郎書簡を素材として—」（23K00846 研究代表者：栄原永遠男）による。

（背景：山根徳太郎資料より、北京滞在中の山根の写真・家族宛の絵はがき）